



第372号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



悩んでいいよ



カット：本多 紘子

謹んで新年のお慶びを申し上げます。今年の冬は例年になく冷え込み大雪が降る地域もあり、家に閉じこもり、三密になりやすいので、新型コロナウイルスの流行が心配です。夏には治まりかけていた感染が、寒くなると急激に感染者が増え、政府はお正月をはさみ10日間は外出自粛を国民に要請しています。皆様いかがお過ごしでしょうか。

一昨年末の12月に中国の武漢で発生した新型コロナウイルスがあつという間に世界流行し、昨年の令和2年12月20日までに世界全体で7580万人が感染し、死者が168万人になっています。新型コロナウイルスの開発競争が世界で凌ぎを削り、米国製薬大手ファイザーとドイツのバイオ企業ビオンテックとで共同開発したワクチンが承認され、英国では12月8日から高齢者や医療従事者に、米国でも12月14日に接種が開始されました。一部のみに深刻なアレルギー副作用の心配はありますが、ファイザーから製造販売の承認を12月18日に日本の厚生労働省に申請されました。早ければ来年の2月にも、日本での接種が可能になるのです。コロナの流行が治まれば一安心ですね。

コロナの流行で飲食業や観光業・ホテル業の倒産があり、関連社も多大な経済損失を受けています。また、お店や会社の雇い止めにあ

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に電話下さい。

った人たちは生活苦に喘ぎ、仕事を失った女性たちの自殺も増えて悲しいことです。シングルマザーも子どもをかかえて食事にも事欠いており、ワクチン接種で経済の復興が早まるのを期待するばかりです。12月は忘年会のシーズンでしたが、政府にコロナ感染で外出自粛が呼びかけられて、どこの会社も取りやめになったそうです。忘年会は上司や先輩に気を遣うと嫌う若者が多くなり、忘年会の中止で年末はゆつくりできると喜ぶ人も増え、その意味ではコロナの流行は良かったのかも知れません。臨床心理士の東畑開人さんは「何かを得れば、何かを失う」と言い、自分の時間を大切にすることが出来た反面、何か大切なものを失ったのではないかと話されています。

同僚、友人、関係者たちと、3密空間で共に食べ、共に飲む。そこで受けるのは感染リスクだけではなく、それぞれの1年の出来事だ。おしゃべりが散乱し、飛沫が飛び交う空間で、私たちは普段見せていない自分を漏らしてしまう。素面の時はわからなかった各自の個人的な一面が見えてくる。「色々あったんだ」と驚き、「大変だったな」とか「よかったじゃん」と思って、人間関係が少しだけ密になる。「個」としての顔が垣間見えるのだ。だからこそ忘年会には、個人のいろいろな側面を知り、相手を受け入れる余地が作られたのだが、中止になって、大切な相手のことを知る時間を失ったのかも……。

道元禅師の『正法眼蔵』の中に「仏道を習うというは、自己を習うなり 自己を習うというは、自己を忘るるなり 自己を忘るるといふは、万法に証せらるるなり」とありますが、仏道の道を学ぼうとするとは、自分自身を学ぶこと。自分自身を学ぶと学ぼうとするとは、自己自身を意識しなくなること。自分自身を意識しなくなるといふことは、宇宙のあるがままの自分に目覚めさせられるという意味です。

自分にはこうあるべきだとか、こうありたいと願っても自分の思うようには生きられない。自分がというプライドを捨てて、周りの人に何となく必要とされる謙虚な生き方を学ぼうよ。合掌 (奥原 曇龍)

『若者が未来が見えず悩んでる こつこつ生きよう今を大切に』 どんりゅう

ともしび説法

日時・一月 一日「金曜日」 午後一時から午後四時まで。
二月十九日「金曜日」 午後一時半から午後四時まで。
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方 [心光寺 倉敷 検索](#)



カット：奥原 綾



お釈迦様ものがたり 51

お釈迦様の成道後、多くの人が帰依しますが、婦人として仏教徒になった有名な人にはサーリプッタ(舍利弗)の母でサーリーヤ、バラモン教の妻であったダナンジャーニーなど数多くの人がいます。

サーリーヤは学者バラモンの家に生まれ、父を論破した若い男と結婚して、サーリプッタを産んだとされます。彼女は若いときから聡明であって、兄のディーガナカ(長爪)と議論をしてこれを破り、そのために兄は南方に行つて修行し、学が完成するまでは爪を切らないと誓つて、爪を長く伸ばしていたので、長爪禪師と呼ばれた。サーリプッタが仏教に出家したことを、母のサーリーヤは快く思わずにいました。のちにはサーリプッタの感化によつて、熱心な仏教信者となり、後に兄のディーガナカも仏教に出家しています。

ダナンジャーニーは、バラモンの妻であったが、彼女はお釈迦様に対して絶対の帰依をささげていました。そこで日常口癖のように、「南無如来正等覚者」と言つて、帰依仏の語を發していた。夫のバラモンはこれがやりきれなかつた。ある日、夫の為に食事を運んでいたときも「南無如来正等覚者」の語を三回繰り返します。夫は怒つて、お釈迦様のおられる竹林精舎に議論に行きました。

夫は「何を殺せば幸福に寝られ、何を殺せば悲しむことがないのか」と問います。お釈迦様が殺生を禁じられているので、殺生を賞賛することがあるのかと、皮肉つて質問をしたのです。お釈迦様は「怒りを殺せば幸福に寝られ、怒りを殺せば悲しむことはない。毒の根である怒りを殺すことを聖者は賞賛する」と答えられたので、夫のバラモンは得意即妙の説法に感心し、妻のダナンジャーニーと共にお釈迦様に帰依します。彼の友人たちは大いに驚き、これを怒つて喜ばず、竹林精舎に押しかけて問答をします。合掌 (奥原曇龍)

元且や孫にも会えず寂しけり 寺のともしび今年もたより 田辺多恵子



12月19日 岡野家法要(心光寺にて)

ともしび法話

明けまして南無阿弥陀仏
 昨年は、新型コロナウイルスの流行でお寺の法要が中止となり寂しい限りでした。今年は何としてもお寺の活動を盛大にしたいのですが、皆様のお知恵を拝借したいです。
 コロナに負けず、お寺にお参り下さい。
 心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

コロナにも雨にも負けず寺詣り
 生きるも死ぬも弥陀にまかせたり
 丑年はゆつくり大地を踏みしめて
 悔いなき人生仏と歩む
 倉敷市中島 山田 孝治

新年明けましておめでとございます。
 昨年はいろんな事がありすぎて、とても大変でしたが前向きに頑張っています。お寺に来ると何だか気持ちが軽くなり、友達も出来て、こころがゆつたりとなります。
 倉敷市藤戸町 福原 浩子

令和2年11月28日に主人の種夫が満86歳でお浄土に旅立ちました。筑豊から倉敷に来てクレーンの運転をし、退職しました。感謝でいっぱいです。
 井波 幸子

ともしび説法

日時・一月 一日「金曜日」 午後一時半から午後四時まで。
 二月 十九日「金曜日」 午後一時半から午後四時まで。
 場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて
 電話・(086)420-1311 駐車場有り

○ともしび説法・お寺の行事予定

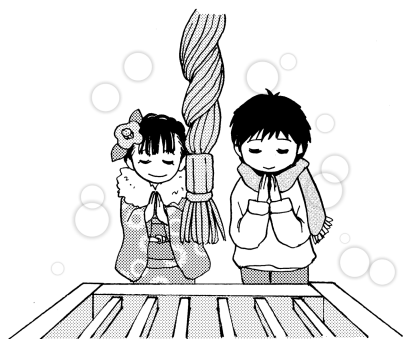
三月 九日(火)・午後一時半から午後四時・早高の本堂。
 四月 十八日(日)・午前十時半から午後四時・早高の本堂。
 午前・ピアノ&チェロ演奏、午後・法要儀式・仏教講演

☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。
 ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。
 会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)



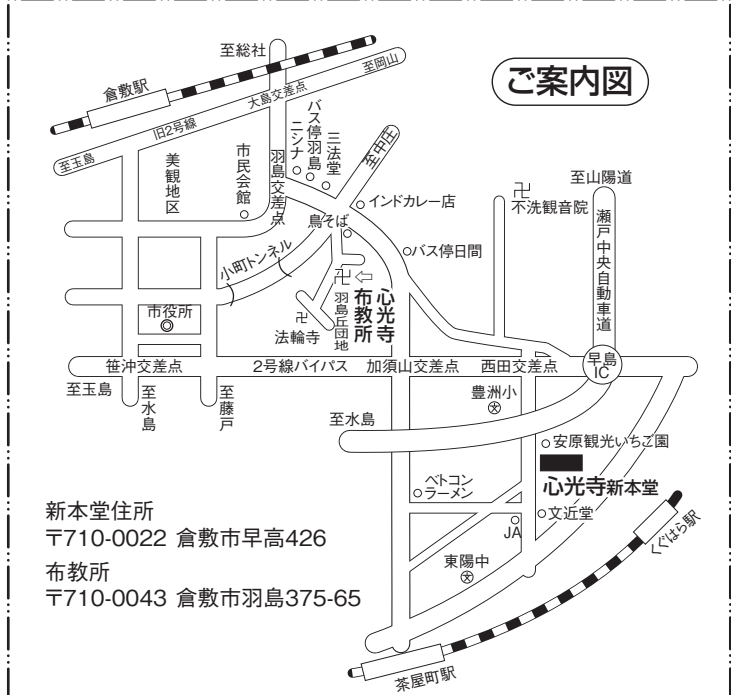
こころの詩

ことしも新春がきたよ
 明るいう方へ 明るいう方へと
 一生懸命に努力して生きてきたが
 憂いと悩みだらけ
 絵にかいたような幸せは
 おそらくどこにもないだろう
 それでも生きる それが私だ



カット:吉岡美枝

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。
 お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらうより、自分でお寺は決めよう。



〒710-0022 倉敷市早高426
 浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
 TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
 携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「372号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法の日には、茶屋町駅西口に12時30分に、お寺より自動車でお迎えに行きます。車の送迎が必要な方は心光寺まで、ご連絡下さい。合掌 心光寺 総代長 本家豊彦